

福井市学校版環境ISO 実施計画書

福井市長 様

私たちの学校は、恵み豊かな環境を守り未来に引き継いでいくために、環境保全に関する学習、教育及び活動を積極的に行って環境にやさしい学校づくりと生命や自然の大切さを理解し郷土を愛するモラルの高い児童生徒の育成に取り組むための実施計画を作成しましたので、福井市学校版環境ISO認定制度による認定の更新を申し込みます。

令和 5年 5月 17日

学校名 福井市岡保小学校

校長氏名 松宮 龍栄

1 今年度の目標(学校の約束)

- ①岡保地区の環境、地球環境について学習します。
- ②水や電気、紙などの資源を大切に使います。
- ③ごみの分別をしっかりとし、リサイクルに努めます。

2 取組内容

① 環境に関する学習

- ・SDGsについて学び、岡保地区の環境について調べ、環境保全への興味を高める。
- ・バケツ稲に取り組むとともに、岡保地区で育てているお米（自校の田んぼで収穫するお米）と比較をすることで、環境への興味を高める。
- ・清掃センター・浄水場・浄化センターなどの施設見学を行う。

② 節水・節電、紙の再利用の取組

- ・水道やスイッチにポスターやラベルを貼り、節水・節電を呼びかける。
- ・リサイクルボックスを用意し、ゴミの減量を図る。

③ 地域と連携してゴミの分別回収・清掃活動

- ・古紙やアルミ缶などの回収をPTAや地域と連携して行う。

★ ESDポイント(取組内容の内、1項目についてESDの視点をどのように取り入れるかを記載してください。)

- ①について、現在の生活を見直し、持続可能な未来を創造する力を養う。(批判・未来)バケツ稲に取り組み、自然や食べ物の大切さについての理解を深める。(連携性・協力)

福井市学校版環境 I S O 実施報告書

学校名

岡保小学校



1 今年度の目標 (学校の約束)

- ① 岡保地区の環境、地球環境について学習します。
- ② 水や電気、紙などの資源を大切に使います。
- ③ ごみの分別をしっかりとし、リサイクルに努めます。

2 取組内容

① 環境学習

・ 3年生が岡保地区にある農業試験場に訪問し、「いちほまれ」などの美味しいお米を作るための取り組みについて詳しく学習した。農業試験場の手間暇をかけた取組や試験場の方の考えを知るよい機会となった。



・ 4年生が社会科の時間に、クリーンセンターの訪問を行った。ごみの焼却処理を見学するとともに、ごみが正しく分別されずに捨てられているという現状を知った。また、環境のためにもごみの分別が大切であることを学んだ。



・ 5年生が総合の時間に、バケツ稲の栽培を行った。児童が土作りから収穫までをすべて手作業で行い、お米を作ることの大変さや難しさを学んだ。籾殻から米を手作業で取っていく活動を通し、農業機械を使うことで作業が効率化していることも実感することができた。

・ 3年生以上の児童が、地域の方と協力して田植え・稲刈り体験を行った。岡保地区には田が多くあり、児童にとって身近な存在である田植えや稲刈りを体験することで、地域の環境

についても興味を持つことができた。



②水や電気、紙などの資源に対する取組

・教室内にリサイクルボックスを設置し、資源ゴミとして出すようにしている。また児童のグループワーク等で考えをまとめるときは、裏紙を使用し資源の有効利用に努めた。

③地域と連携したごみの分別回収

・古紙やアルミ缶などの回収を PTA や地域と連携して 6 月と 11 月に行った。



★ ESDポイント（取組内容の内、1項目についてESDの視点を取り入れたポイントを記載して下さい。）

①について、様々な施設を見学する中で、現在の生活を見直し、持続可能な未来を想像する力を養うことができた。（批判・未来）

3
見
直
し

【具体的効果】

- ・総合の時間や生活科の時間に地域の環境について学習することにより、児童の中に環境を大切にしようとする意識が高まった。
- ・環境教育と総合的な学習や理科、社会科の授業を教科横断的に扱うことで、理解が深まり、自然環境を守っていかうとする意識を高めることができた。

【改善点】

- ・各学年の取組を全校で共有する機会が少なかったなので、全校に発信できるようにしていきたい。
- ・地域との結びつきが強い本校の特徴を活かし、今後もこれまで以上に地域からの情報を収集し、地域と連携しながら活動を進めていくようにしたい。